

～ 構成団体 ～
 連 合 長 崎
 県平和運動センター
 同盟友愛連絡会
 県 中 連 懇 話 会
 労 働 金 庫
 全 労 済
 県生活協同組合連合会



一 発 行 所 一
 長崎県労働者福祉協議会
 〒850-0031
 長崎市桜町 9-6
 長崎県勤労福祉会館内
 ☎ 095-811-6131
 roufuku-nagasaki@io.ocn.ne.jp
 発 行 日 隔 月 1 日
 発 行 責 任 者 梶 田 憲 二

給付型奨学金制度の導入・拡充と教育費負担の軽減を求める署名

(中央労福協)現在の集約数 **301万1,913筆** (3月16日現在)

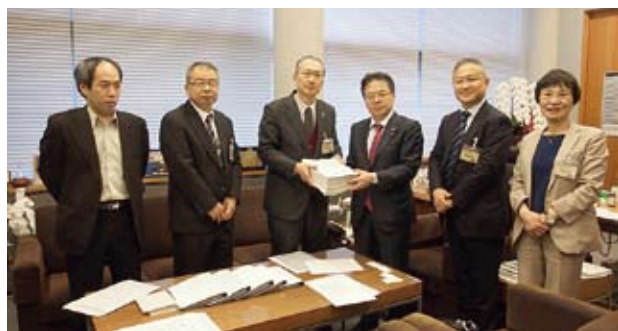
(長崎県労福協)現在の集約数 **11,213筆** (3月16日現在)

大学の学費の高騰と家計収入の減少により、今や大学生の2人に1人が、何らかの「奨学金」を利用しています。さらに、不安定雇用や低賃金労働の拡大により、卒業しても返済に苦しみ「返したくても返せない」人たちが増加しています。未来を担う若者を社会全体で支え、持続可能な社会にするため、私たちは、奨学金制度の改善と教育費負担の軽減を求め、中央労福協、地方労福協、労働組合、福祉事業団体、弁護士会等で連携し、署名活動を展開しました。全国目標300万筆、長崎県労福協目標2万筆を掲げ、①労働組合産別縦ルート、②地域横ルートで取り組みました。その結果、全国では301万1,913筆、長崎県労福協では11,213筆を結集できました(3月16日現在)。皆様のご協力に感謝します。写真は、3月22日の院内集会と内閣総理大臣に奨学金制度の署名簿提出・要請。

労福協 南部ブロック定期総会を開催 2016年度の活動方針等を決定

労福協南部ブロック協議会(九州・沖縄)は2月15日、佐賀市「ホテル マリタール創世」において2016年度定期総会を開催。総会には役員・代議員・オブザーバー約70名が出席した。冒頭、金丸幹事(宮崎県労福協)の開会挨拶で始まり、議長団には、佐賀県労福協から村山代議員(労金佐賀県本部)、瀬光代議員(全労済佐賀県本部)を選出し議事に入った。南部労福協幹事会を代表して挨拶した相川会長は、①「格差・少子高齢化・貧困社会」の立て直し、②「奨学金」の制度改善の取り組み、③「福祉事業団体の利用促進支援の取り組み」、④生活応援運動の取り組みなど、安心・安全に暮らせる社会づくりをめざす事を強調された。その後、2015年度活動報告・決算報告並びに2016年度の活動方針・予算等の審議を行い、全ての議案に対し、原案通り満場一致で承認された。

その後、富吉佐賀新聞社常務から「人を追い詰めない社会…」を演題に記念講演があった。



▲院内集会と署名簿を提出する神津会長



▲南部労福協総会で挨拶する森会長

次世代育成セミナー開催!!

労働運動・労働者福祉運動の理念

歴史・リーダー養成講座開催!!

県労福協は2月6日(土)14時から17時まで、「ホテル セントヒル長崎」において次世代育成セミナーとして「労働運動・労働者福祉運動の理念・歴史・リーダー養成講座」を開催。県下各地より53名の参加があった。

司会進行はろうきん職員の小林氏が担うなど、これまでとはチョット違った進め方で、参加者、若者が自ら担う企画とした。また、グループ討議も新たな形であり、試みは新鮮味を感じた研修会であった。

内容：講演「労働運動・労働者自主福祉運動の理念・歴史・リーダー養成講座」～労働金庫・全労済の誕生と労働組合の関わり方を中心に行った。

講師：中央労福協アドバイザー 高橋 均氏

1. 戦後労働運動と労働者自主福祉運動(労金・全労済)の成り立ち
2. 当面する労働運動の課題
3. 労働者自主福祉運動のあらたな展開に向けて
4. 「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」

◆グループ討議：6グループ

◎座長：① 山崎 浩介(自治労県本部)

② 増本 利恵(自治労県本部)

③ 岩瀬 康博(J P労組 諫早)

④ 坂井 秀樹(エレナ労組)

⑤ 長瀬 祐介(労金労組)

⑥ 楠本 純一(佐世保重工労組)

◎討議内容：① 自己紹介、② 講演に対する感想・意見、③ 労働組合・労福協・ろうきん・全労済に対する意見・イメージ・要望など、④ ②と③を踏まえ、課題解決策や利用促進に向けて、座長を中心に意見交換をおこなった。

◎交流会：17時30分～各グループから特徴的な意見・感想など含め全体による交流をおこなった。なお、アンケート結果で、講義内容は全体的に「大変良かった・良かった」と好評であったものの、グループ討議では、労働組合運動における職場での進め方、課題などの多くの意見・質問等があり、次年度に向けた整理が必要と感じた。

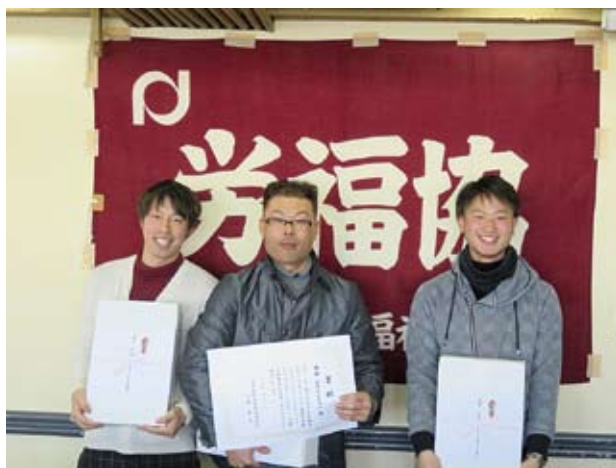


▲講師：高橋 均氏



▲グループ討議する参加者

第6回県労福協ボウリング大会開催



▲優勝チーム(西部ガス労組)

組合員相互の親睦・交流を図る目的で、2月21日(日)長崎ラッキーボウルにおいて、県労福協主催第6回ボウリング大会を開催。県下各地から、74名の参加があり大いに盛り上がった。

団体優勝/「西部ガス労組」、準優勝/県職島原A、3位/J P労組みなど支部。

個人優勝/柴崎雅寛氏 (J P 労組みなと)、準優勝/椎山京介氏 (西部ガス労組)、3 位/田島真理子氏 (県職島原 A) でした。



▲ハイスコアを出した柴崎雅寛氏 (J P 労組)

各地区労福協だより

長崎地区労福協ボウリング大会開催

長崎地区労福協は、県労福協ボウリング大会の予選を兼ね第6回大会を開催、24チーム・72名が優勝をかけ熱戦を繰り広げた。

日 時：2016年2月11日 (木・祝) 10:30～

場 所：長崎ラッキーボウル

結 果：優勝：西海市職、準優勝：西部ガス労組、
3 位：J P 労組・みなと支部



▲優勝した西海市職チーム

佐世保地区労福協ボウリング大会開催

1月29日 (金) 18:45～、西肥シルバーボウルにおいて、約70人の参加で「佐世保地区労福協第6回ボウリング大会」を開催した。冒頭、主催者を代表して菊永会長が挨拶を行った。労働金庫、全労済、連合地協から、賞品の提供があり、玉屋労組の

協力のもと、豪華な賞品となった。菊永会長もゲームに参加、ハイレベルのチームもあり、和気あいあいの内容となった。成績は、下記のとおり。

優勝：Not pay チーム (相浦機械労組)、準優勝：チーム 東ヤンチーム (市職労)。

個人賞は、個人優勝男子：永田 幸治 (相浦機械)、個人優勝女子：山田 七重 (西肥自動車)。ハイゲーム賞：永田 幸治 (相浦機械)。



▲佐世保地区労福協ボウリング参加者

五島地区労福協ボウリング大会開催

2月9日 (火)「五島地区労福協主催第6回ボウリング大会」がワイワイタウンで8チーム24名の参加で開催した。

優勝は県教組五島総支部チーム (鹿垣・平山・松岡)、個人優勝は男子・県教組の鹿垣亨氏、女子・五島バス労組の入口光子氏。

優勝した県教組チームは2月21日 (日) 長崎で開催された県労福協のボウリング大会には行事が重なったため参加できず、代わりに2位の五島市職チームが参加した。



▲五島地区労福協ボウリング大会

大東地区労福協ボウリング大会開催

大東地区労福協は、県労福協大会の予選を兼ねて、ボウリング大会を開催した。今年は、15チーム、45名（男性32名・女性13名）の参加で、県大会の出場をかけて大いに盛り上がった。

日 時：2月5日（金）18：30～

場 所：大村 Jボウル

成 績：優勝／県教組大東支部（マリオブラザーズ）、2位／東彼保健福祉組合（レイシアゲインストザマシーン）、3位／長崎交通労組（チーム赤バス）以上の結果、上位2チームが県大会へ出場することになった。



▲大東地区労福協ボウリング参加者

サポートセンター佐世保 移転

「ライフサポートセンター佐世保」は、3月1日から、佐世保市勤労者福祉センター2F（連合長崎佐世保地協事務所内）へ移転しました。

また、相談日は毎週火・木曜日の2日間となり、電話相談（フリーダイヤル）はすべて、「ライフサポートセンター長崎」へつながります。



▲新たにスタートするライフサポートセンター佐世保 & 連合長崎 非正規・パート労働者支援センター開設

連合長崎 非正規・パート労働者支援センター開設

2016年3月1日「連合長崎 非正規・パート労働者支援センター」が「ライフサポートセンター長崎」と並列して開設されました。また、3月2日は佐世保地区でも同様に窓口が設置されました。「昨今、非正規労働者が増大していますが、悩みを抱えて働いている人たちの手助けとなればとの思いです。連合長崎は、この「非正規・パート労働者支援センター」を通じて、全ての働く仲間が安心して働き生活できる社会の実現を目指しており、労福協も連携した取り組みを進めていきます。



▲非正規・パート労働者支援センター長崎開設

第90回
労福協

クイズ

- 九州ろうきんは五島支店〇〇〇〇記念ライフプランセミナーが開催されました。〇〇〇〇に入る4文字は何でしょうか？
 - 全労済の自然災害共済には〇〇タイプと標準タイプの2種類があります。〇〇をお答えください。
- ◎答えはハガキかFAXで、〒番号・住所・氏名・職場名を明記し県労福協へ送付ください。
- ◎締切日は5月20日（金）（当日消印有効）

◎当選者10名の方に「お楽しみプレゼント？」します。正解者多数の場合は抽選となります。

◎送り先 〒850-0031 長崎市桜町9-6
勤労福祉会館内

長崎県労福協クイズ係

◎FAX (095) 811-6132

◎前月号当選者（敬称略）

坂本 洋子（長崎）	若菜佳奈子（長崎）
磯本 健一（佐世保）	川本 文子（大村）
園木 敦子（大村）	田添 美雪（大村）
岡添 良子（大村）	池田多佳子（諫早）
村上 勝治（佐々町）	宮島 貴文（雲仙市）

五島地区労福協・連合五島地域協議会との共催で、

九州ろうきん五島支店30周年記念ライフプランセミナーを開催！



(主催者挨拶をする草野推進委員長)

記念セミナーでは、長嶺ろうきん五島支店長の司会挨拶で幕を開けた後、主催者である下五島地域推進委員会の草野推進委員長から本記念セミナーの開催趣旨が説明された。続いて、ろうきん長崎県本部より森田本部長、最後に共催団体を代表して五島地区労福協・連合五島地域協議会の谷川議長がそれぞれ挨拶を行った。

セミナーはⅠ部・Ⅱ部の構成で、Ⅰ部では「ろうきん五島支店30周年を振り返って」というテーマで、ろうきん五島支店友の会・布袋会長より、①福祉運動との出会い、②ろうきん誘致運

動から出張所開設まで、③これからのろうきん運動について講話を受けた。講話では開設にあたって多くの組合員の力が結集されたことを再認識しつつ、ろうきん五島支店開設までの歴史や労働者自主福祉運動の大切さを学ぶことができた。



(県本部を代表し挨拶をする森田県本部長)



(福祉運動の大切さを講演する布袋友の会会長)

Ⅱ部では、「30周年記念ライフプランセミナー」という内容で、人生設計に役に立つ情報や人生の3大イベント（教育・住宅・老後資金）での資産形成や資金調達方法等、多岐にわたってろうきん五島支店：大坪職員より提案がされた。世代に関係なく将来設計の重要性和夢を実現するための資金準備等、家計の見直しを図るいい機会となった。

本セミナーは、推進委員や各会員組織の協力なくして開催することはできない。また、4年ぶりに連合五島地域協議会と五島地区労福協との共催で開催できたことは今後の運動の継承や財産に繋がるといえよう。

<ろうきん>は、労働者自主福祉運動から生まれた協同組織の金融機関である。会員との“ふれあいを大切”に、親しまれ喜ばれ信頼される福祉金融機関を目指し、今後ともイベントやセミナーの開催を計画していきたい。ろうきんは、地域ナンバーワンの金融機関を目指し、頑張っている。引き続き、勤労者のお役に立つ金融機関としての成長を願いつつ支えていきたい。



(セミナーのまとめをする高井良連合五島・地区労福協事務局長)



(夢の実現のための熱の入った提案をする大坪職員)



災害は忘れた頃にやってくる！ 自然災害への備えは大丈夫？



2016年1月24日(日)～25日(月)にかけて、日本列島全域で大雪の被害が相次ぎました。長崎県内においては、大雪による水道管凍結による破裂や住宅損害の全労済被災受付が609件(2016年3月17日時点)となり、2号災害適用となりました。

全労済では迅速に現場調査を行い、被災された組合員のために、一日でも早い共済金支払いを行っています。

また、台風の通り道でもある九州は毎年台風による大きな被害を受けています。全労済の住まいる共済では自然災害共済で台風や雪害による住宅・家財の損害に備えることができます。

いまからしっかりとご自身の備えを確認しておきましょう。



新火災共済

新火災共済の保障の範囲です



火災など

- 火災
- 落雷
- 破裂・爆発
- 突発的な第三者の直接加害行為 (損害額5万円以上)
- 他人の住居からの水ぬれ
- 消火作業による冠水・破壊
- 他人の車両の飛び込み
- 建物外部からの物体の落下・飛来

新自然災害共済

- 新自然災害共済のみのご加入はできません
- 大型タイプ 標準タイプ の2種類があります

新自然災害共済の保障の範囲です

風水害などの保障が、より手厚くなります



風水害など

- 暴風雨
- 突風・旋風(竜巻含む)
- 台風
- 高波・高潮
- 洪水
- 上記による地すべりもしくは土砂崩れ
- 豪雨・長雨
- 雪崩
- 降雪
- 降ひょう



地震など

- 地震による損壊
- 地震による火災
- 噴火による損壊
- 津波による損壊
- 噴火による火災

盗難による損害

- 盗難による盗取・汚損・損傷が生じ、所轄警察署に被害の届け出をした場合

幅広い保障範囲

- 火災など
- 地震など
- 風水害など
- 盗難による損害

プラス 特約をプラスしてさらに安心

- NEW 類焼損害保障特約 ← 近隣への延焼対応に
- NEW 盗難保障特約 ← 万一の盗難に備えて
- NEW 個人賠償責任共済 ← 「もしも」の賠償に備えて
- 借家人賠償責任特約 ← 賃貸に対する損害賠償を保障

家計に負担をかけない手頃な掛金

戸建て 加入プラン例

月々の掛金
2,000円

主な保障額	
火災など	最高 1,000万円
風水害など	最高 1,000万円
地震など	最高 300万円

※住まいる共済(新火災共済+新自然災害共済+大型タイプ)に100口加入(木造構造)

マンション 加入プラン例

月々の掛金
950円

NEW マンション専用プラン(風水害保障なしタイプ)
風水害リスクの低いマンションのために、火災や地震などに保障を限定した掛金が手頃なプランです。

主な保障額	
火災など	最高 1,000万円
地震など	最高 300万円

※住まいる共済(新火災共済+新自然災害共済+大型タイプ)に100口加入(マンション構造専用風水害保障なしタイプ)

保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

【お問い合わせ先】 下記の全労済長崎県本部各支所へ

- 長崎支所 長崎市宝栄町3番15号
TEL (095)864-7144 FAX (095)862-8127
- 佐世保支所 佐世保市城山町1番22号
TEL (0956)25-8012 FAX (0956)22-7292